

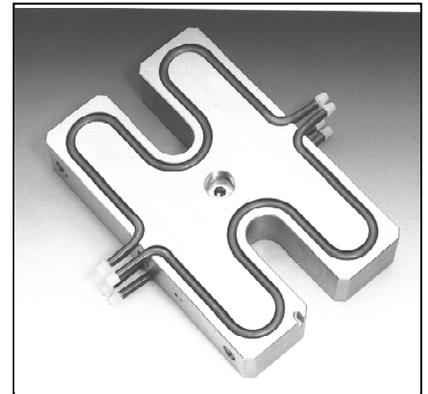
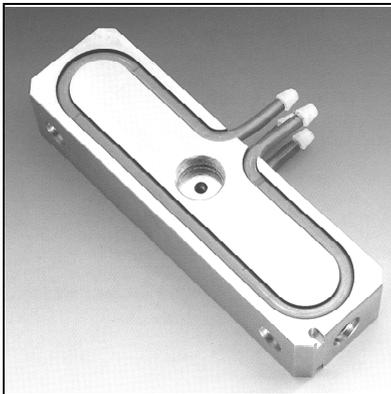


## シーズヒータ マニホールド

ホットランナ マニホールドの熱管理には、カートリッジヒータやアルミ鑄込みヒータが一般的に使用されておりますが米国及びヨーロッパでは写真のようなシーズヒータの埋め込み方法が多く採用されております。

### 特長

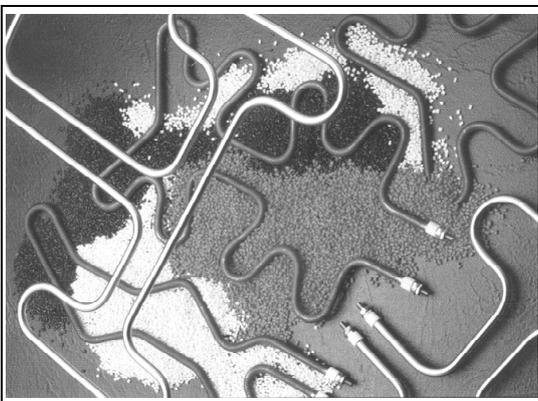
- ① 均熱に最適リード線大型でも4本のみ、温度センサも一個所ですむ。
- ② ゲート・ランナへの距離を均熱する事が出来る。
- ③ 故障が少ない。



### 手順

- ① 樹脂ランナ・ゲートを囲み込むようにブロックの両面にヒータ溝を掘る。
- ② ヒータ溝形状にあわせシーズヒータを曲げ加工し埋める。
- ③ サーモセメントをつめ込み固定して乾燥させる。

### 【シーズヒータ】



### 納入方法

- ① シーズヒータの図面を支給して頂きにシーズヒータを曲げ加工して納入する。
  - ② 溝を掘ったマニホールドブロックを支給して頂き、シーズヒータを現物合わせしサーモセメントで埋め込み乾燥させて納入する。
  - ③ マニホールドブロックの図面を支給して頂きブロック加工、ヒータ埋め込みまでの完成品で納入する。
- ①～③を御都合に合わせて御選び下さい。

5W/cm<sup>2</sup>までは国産シーズヒータ  
6W/cm<sup>2</sup>/米国製ワットロッド

 日本金型産業株式会社

東京都品川区東大井5-12-10 大井朝陽ビル1F

TEL : 03-6810-4751 FAX : 03-6810-4766

URL : <http://www.jtdtky.co.jp>

E-mail : [jtd@jtdtky.co.jp](mailto:jtd@jtdtky.co.jp)